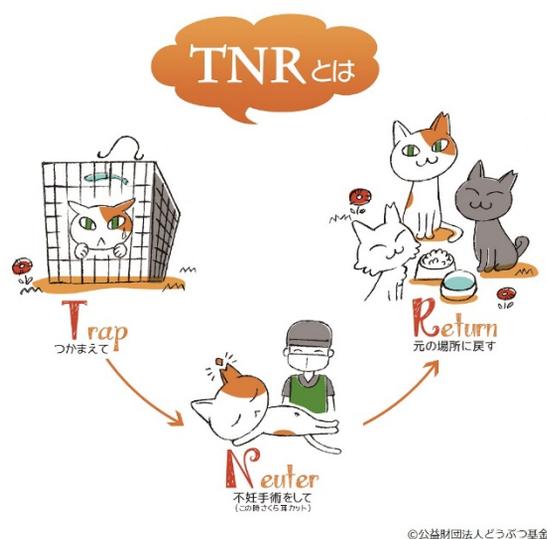


# 相島さくらねこTNRプロジェクト 実施報告書

2020年度



主 催：公益財団法人どうぶつ基金

申請者：相島猫の会、福岡ねこともの会、SCAT

会 場：島内の一般住宅（空き住居）

福岡県粕屋郡新宮町相島（番地省略）

期 間：2021年3月15日～3月18日

# 相島(福岡県)



※一般社団法人新宮町おもてなし協会HPより



# 事前調査

1月19日 相島一斉TNRの要請を受けて、事前調査に入りました。

1. 手術会場の確認
2. 猫の状態
3. 島民の猫に対する意識調査
4. 餌場のチェック



# スケジュール

doubutukikin

日付	時間	
3/15	13:00~	手術室設営 全員でミーティング 自己紹介 捕獲、手術開始
3/16~3/17	8:45~ 9:00 17:00 夜間	朝礼 持ち場についての説明 獣医による手術後の猫の確認後、猫をリターン 手術開始 手術終了 定期的に猫の見守り
3/18	8:45~ 9:00 11:00	朝礼 獣医による手術後の猫の確認後、猫をリターン 手術開始 手術終了 どうぶつ基金スタッフ 帰路へ
3/19		現地ボランティア団体が手術後の猫の状況を確認後、猫をリターン



## 申請事業の背景・必要性及び目的

### “世界6大猫スポット”は「猫の楽園」ではなかった

相島は周囲約6kmの小さな島。

2013年にアメリカCNNの“世界6大猫スポット”に選ばれたことで「猫の楽園」として広く知られるようになったが、その実状は決して「楽園」と呼べるものではなかった。

島の猫を「野生の猫」として給餌を禁止、増えすぎた猫に対する虐待も常態化するなか、猫の健康状態を心配する声を受けて地元ボランティア団体が介入。この時点ではやせ細った猫や病気の猫が多く、不妊手術に耐えられないと判断され、健康状態の回復に努めること約2年。

地元ボランティア団体からの要請を受け、猫の健康状態が回復したこと、猫のお世話をしている住民の高齢化が進んでいる状況をふまえ、これ以上の繁殖を防ぐために一斉手術が必要であると判断した。



## ボランティア数 43人

参加ボランティアには、会場設営から島内にTNRを知らせるチラシの配布、猫の捕獲作業、捕獲した猫の運搬作業などを行っていただきました。猫たちはリヤカーで運ばれて行きます！



設営



猫の管理



猫の捕獲、放猫(リヤカーを使用)

## 術前術後の猫のお世話



術前術後の猫のお世話はとても大切です。餌やりやペットシーツの交換はもちろん、体調の確認など、猫たちが少しでも快適に過ごせるよう心のこもったお世話をさせていただきました。

手術に必要な備品の準備、使用後の医療器具の洗浄などもお手伝いいただきました。

また、使用後のケージはしっかりと洗浄し、新たな猫の捕獲に向けて準備を行います。皆で分担し、スムーズに進めることができました。

## 備品の準備など



## ケージの準備や洗浄など



## 手術数

	オス	メス	耳カットのみ	計
3月15日	10	11	0	21
3月16日	26	27	0	53
3月17日	31	28	0	59
3月18日	6	11	0	17

【捕獲数】 182頭

【手術実施数】 150頭 内訳：オス73頭、メス77頭（内妊娠47頭、墮胎数130頭）

※32頭は地元団体が手術費用を負担し、県内の動物病院で不妊手術を実施済み。

## 処置内容

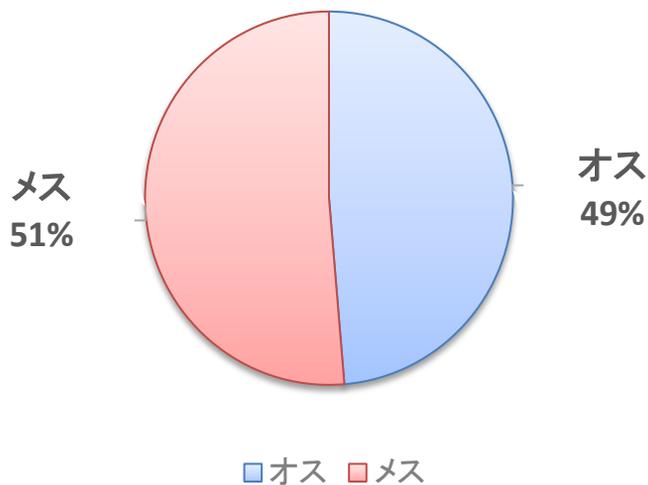
不妊手術（オス・メス）、3種混合ワクチン、補液、

ノミ・ダニ・回虫の駆除（レボリューション）、負傷治療など

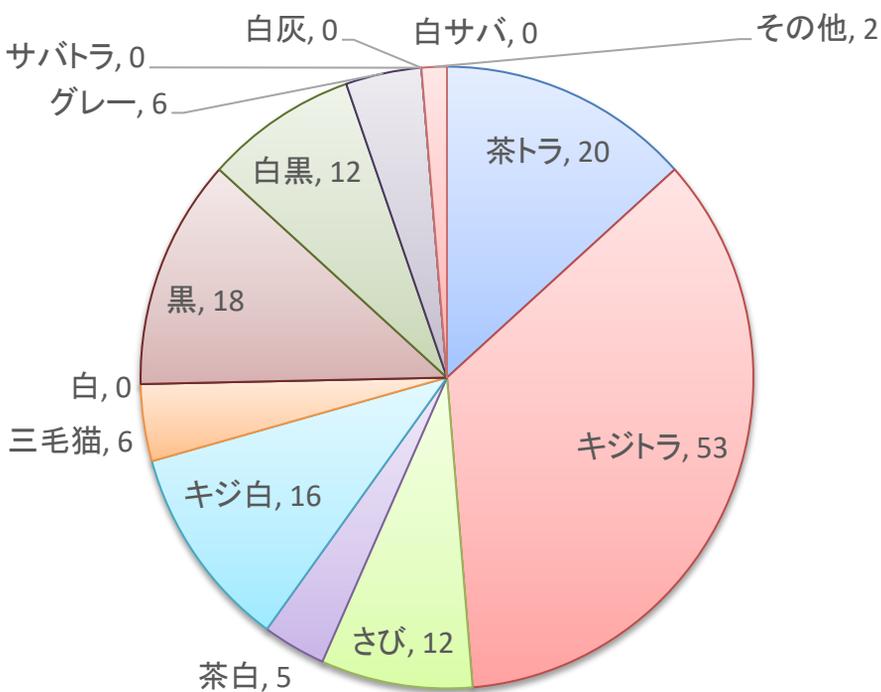
【診療以外】耳先のV字カット（さくら耳）、爪切り、耳掃除、ブラッシングなど



相島 手術猫の性別



相島 手術猫の毛色



どうぶつ基金 執刀医： 齊藤、青山 小島（ボランティア参加）



手術を終えた猫たちは、健康状態のチェックを受けてから元いた場所へ戻されます。





SNSアカウント テレQ公式facebook テレQ公式t

ニュース

報道

情報・音楽

バラエティ

スポーツ

映画・ドラマ

アニ

TOP > ニュース > 「猫の島」相島がターニングポイント どうする?“猫との共生”



## 「猫の島」相島がターニングポイント どうする?“猫との共生”

2021/04/07 (水) 17:00



2021/04/07 放送

テレQ NEWSふくサテ!  
17:00~

申請時は未手術の猫は約80頭とのことでしたが、最終的な捕獲頭数は182頭。予想を大きく上回る頭数であったことから、急遽予定を変更し、4日間にわたって150頭に不妊手術を行いました。残り32頭については、地元ボランティア団体の費用負担によって、福岡県内の動物病院で不妊手術を受けています。

相島で手術を受けた150頭のうち半数の77頭がメス猫、その61%にあたる47頭が妊娠していました。猫島は決して「猫の楽園」ではありません。生まれた子猫は時に外敵に襲われて命を落とし、時に人の手によって海に投げ込まれます。弱い個体は餌にもありつけずやせ細っていく過酷な環境です。

今回捕獲され不妊手術を受けた182頭にくわえて、これまでに、どうぶつ基金の無料不妊手術チケットで不妊手術を受けた51頭、合計233頭の「さくらねこ」が相島に誕生しました。

ほぼ100%の猫が「さくらねこ」となりましたが、まだ未手術のノラ猫や飼い猫が残っており、今後も地元団体と協力してTNRを継続していきます。今回の一斉手術をきっかけに、相島が、ヒトと猫が互いに尊重して共生する真の猫島となることを願ってやみません。





公益財団法人どうぶつ基金